

| 学校目標 | 中長期的目標 | 今年度の重点目標 |
|---|---|---|
| 1 基本的な生活習慣を確立し、豊かな知識・表現力、創造的な思考力を身につけた生徒の育成を目指す。 | I 自律的な生活習慣の確立を図る。 | ○ 生徒・保護者・地域の方々に、さらに理解・信頼される学校創りを目指す。 |
| 2 学年、学級担任、教科担任、クラブ・委員会顧問、各係等が相互に連絡・連携を密にし、全教職員が同一歩調で生徒への指導に当たれるようにする。 | II 学習支援の環境を整備する。 | i 土曜日の有効活用を含め、学習習慣の定着を図るとともに、授業内容の一層の充実を目指し、学習環境を整える。 |
| | III 自己の適性の伸長と学力の向上を図り、希望進路の実現に向けた指導をする。 | ii 生徒会の委員会やクラブと連携して、生徒の自律を促し、活気ある学校創りに努める。 |
| 3 保護者、地域の方々の要望に謙虚に耳を傾け、健康で逞しい有為な若者を育成することを目指す。 | IV 全教職員の連携がより円滑に機能するような学校運営を行う。 | iii 学力の向上に向けて、学年内・教科内および学年間・教科間の連携を強化する。 |
| | | iv 進学対応型単位制を含め、生徒の多様な進路希望に対応した、特色ある教育課程を研究し、施行する。 |

| 総合評価 | | |
|---|----|---|
| 今年度重点目標に対する成果と課題 | 評価 | 今年度重点目標に対する改善策・向上策 |
| i 授業や土曜講座および学校全体の学習環境整備が進みつつある。生徒や保護者のアンケート結果や公開授業(2回)の反省を生かし、学習しやすい学校全体のシステム構築を目指す。 | B | i 更なる努力、改善を目指したい。また、アンケート等を研究し、学習環境を一層向上させる。 |
| ii 運動系各クラブの校地周辺清掃活動が生徒の自主的活動として定着してきている。更に日頃の活動への積極性が求められる。 | | ii 新執行部への引継ぎを確実に。また、生徒自らが考えて新たな試みを加えようとしているので、適切なサポートを行う。 |
| iii 進路指導係・学習指導係を中心に、学年・教科の連携した指導体制が整備されつつある。また、学年・進路通信なども多く発行され、生徒および職員全体の意志疎通も図られている。今後は保護者との連携もより強くして、学力向上に取り組む必要がある。 | | iii 学年・教科に加え、各係における取り組みが、相互に効果を発揮できるよう、その連携についても更に研究を加える。特に学年毎の情報の引き継ぎ、協力体制を強化する。また、学力向上に向けて保護者との連携を図る。 |
| iv 来年度から進学対応型単位制へ完全移行することに伴い、引き続き、生徒の進路実現により対応しやすい教育課程が研究され、その運営方法にも検討を加えられた。今後は多様な生徒の希望や受験形態に対応できる体制と学習内容の整備が課題である。 | | iv 魅力ある学校・特色ある学校づくりについて、生徒・保護者および校外からの要望も取り入れながら研究する。また、進学対応型単位制へ完全移行するに伴い、中学生・保護者や地域の皆さんから、より深い理解を得られるようにさらなる工夫を加える。 |

<評価> A:達成 B:ほぼ達成 C:改善の余地有り

| 領域 | 対象 | 今年度の具体的目標 (評価項目) | 評価の観点 | 成果と課題 | 評価 | 改善策・向上策 | |
|-------------------------|--|--|--|--|---|--------------------------------------|--|
| 教育活動領域 | 教育課程領域 | 1 生徒の多様な進路希望に対応した教育課程を研究する。 | ・大学入試、生徒の進路希望を分析研究し課題を明確化できたか。 | 年次ごとの各教科の単位数と総時間の配置と配分が適切であるか検討を始めた。 | B | 検討をすすめて改善を図る。 | |
| | | 2 単位制三年次の教育課程を確定する。 | ・進学対応型単位制(選択制)を含め、特色ある教育課程の実現に向け、生徒・地域の多様な要望に対応した、カリキュラムが作成できたか。 | 半期設定科目を含む三年次の開設科目の設置が終了。単位制の全ての開設科目と年次ごとの展開基礎表を完成させることができた。 | A | 今後の運用の中から問題点を拾い出し、より良いものを目指して改善を図る。 | |
| | | 1 学習意識の向上を図る。 | ・学習習慣の定着・向上がみられたか。 | ・今年度一年生の学習合宿が初めて4月15日(火)～16日(水)におこなわれ、成果は上がっている。 | B | ・できれば4月その週の木曜日、金曜日であれば生徒、職員にとってより良い。 | |
| | | 2 放課後や土曜日の自主学習支援の充実を図る。 | ・自習室を多くの生徒が利用できる工夫、環境整備ができたか。 | ・自習室として定着しつつあり普段の日も良く利用されるようになった。 | B | ・土曜日に利用者がさらに増えると良い。 | |
| | | 3 職員間の連携を深める。 | ・学力状況にかかわる情報を広く共有できたか。 | ・学期末においての生徒の成績、模擬試験の成績等良く共有されている。 | B | ・生徒の学力を付けさせる具体的なたでの共有がなされるとさらに良い。 | |
| | 学習指導 | 4 校内授業公開、授業研究会の充実を図る。 | ・相互の研修の機会を有効に活用できたか。 | ・年一回であったが委員会より周知することができた。 | B | ・相互に見学、研修する等より有効に活用されることが望ましい。 | |
| | | 5 生徒からの声を反映する。 | ・生徒による授業アンケートや生活実態・学習状況調査を実施し、結果を指導の改善に生かしたか。 | ・授業アンケートを実施し、職員の授業改善に活かすことができた。 | B | ・授業アンケートに生徒が自分自身をみつめる項目も入れた。 | |
| | | 進路指導 | 1 国公立大学を中心とする生徒の希望進路の実現に向けた指導を適切に行う。 | ・センター試験(5-7型)に多くの生徒が参加したか。 | ・96パーセントの生徒がセンター試験を受験した。ここ数年の受験割合をみて、センター受験が完全に定着してきている。 | A | ・県内の他の進学校と比較すると、センター試験の得点が必ずしも十分とは言えない。事前の指導に工夫が必要と思われる。 |
| | | | 2 後期日程廃止等の受験形態の変化に適切に対応する。 | ・生徒への情報提供等、指導が適切であったか。 | ・必要な情報は様々な方法で伝えることが出来たと思われる。 | A | ・今後受験方式は益々多様化していくであろう。常に情報を入手して研究し、対策を講じていきたい。 |
| | | | 3 『進路選択の手引き』、『合格体験記』を活用する。 | ・HRや教科での活用が進んだか。 | ・各学年HRに任されており、効果的に利用されているとは言いがたい。また、『進路の手引き』を作成できなかった学年があったことも反省点である。 | B | ・今後は書く発行資料について方向性を打ち出し、実行していきたい。 |
| 4 中学校との連携を図る。 | ・中学校との情報交換会や連絡会がもてたか。 | | ・形骸化している。しかし、中学校へのアンケートには意味があった。 | B | ・実施する意味がなくなっているため次年度以降廃止したい。なお、情報収集の手段としてアンケートは実施していきたい。 | | |
| 5 検討会や研修会の充実を図る。 | ・模試検討会、3年進路検討会で職員の共通理解が進んだか。 | ・『センター総括』『入試検討会』『小論文研修会』などを実施した。特に『小論文研修会』は初めての試みであり良かったように思われる。 | A | ・職員の進学に対する意識が希薄になってきている。各種の研修会により、共通認識を図ってほしい。 | | | |
| 6 大学見学会を実施する。 | ・より多くの生徒が大学見学会に参加したか。 | ・生徒が大学の情報を得たか。 | ・240名以上の生徒が参加し実施できた。ただ、各大学の申し込み様式が変わってきているため、把握が難しくなりつつある。 | A | ・方面や見学大学、実施方法等、検討の時期にきていると考えられる。 | | |
| 7 進路講座の充実を図る。 | ・各学年とも生徒の志望や関心に応える内容であったか。 | ・例年実施している行事をおこなった。それなりの成果は上がったと思う。 | A | ・今後とも実施していきたい。 | | | |
| 8 夏期講座・土曜講座・特編授業の充実を図る。 | ・多くの生徒が熱心に参加できたか。 | ・例年と同様におこなうことが出来た。ただ、実施内容には工夫が必要である。 | B | ・単に消化する日程となっている面も見受けられる。効果的な内容を計画、実施していくことが必要である。 | | | |
| 9 進路教材を有効に活用する。 | ・サテライト授業が計画的に活用されたか。 | ・サテライトの利用は定着した。ただ、もう少し工夫も必要である。 | A | ・サテライトの教材や実施方法の研究も必要ではあるが、その他の教材を利用することも研究していきたい。 | | | |
| 生活指導 | 1 自律的な生活習慣の確立を図る。 | ・遅刻をなくす指導ができたか。 | ・遅刻指導を2回(5月・9月)実施した。遅刻者は非常に少なくなっている。 | B | ・交通安全については、特に自転車乗車に関して改めて細かい注意・呼びかけを行って被害・加害を未然に防いでいきたい。 ・11月にサンダル指導を行った際、自分の持ち物全般にわたる記名の大切さを指導したことは良かったと思うので今後も継続したい。 | | |
| | | ・交通安全意識を高めるような指導ができたか。 | ・交通安全指導を2回(4月・10月)実施した。重大事故発生防止のため、更に呼びかけを増やしたい。 ・後期には貴重品の盗難・紛失は無くなった。生徒の持ち物を管理する意識は向上している。 | | | | |
| | 2 集団生活の中の人間関係の確立を図る。 | ・生徒が安心して学校生活を送れるように、「いじめ」がなく、「不登校生徒」に対して十分な援助ができる体制作りができたか。 | ・日常的に、また、問題行動発生時に生徒の安心には配慮して指導を行っている。 ・いじめ・不登校等対策委員会との連携を図っている。 ・対人関係を円滑にできない生徒の増加にいかに対応していくかが課題である。 | B | ・生徒相談室をカウンセリング等で使用するとともに、必要な場合、生徒指導にも利用する現在の方法を続けたい。 ・コーディネーター、養護教諭との連携を更に深めながら、様々な生徒への対応策を研究していく。 | | |
| | | 3 職員間の情報の共有化と関係機関との連携を図る。 | ・校外での情報交換を本校の生活指導に生かしたか。 ・学校と保護者との連携を密にした生徒指導が行えたか。 | ・校外の機関、近隣の高校との連絡は密に行えた。また、全ての生徒指導において、家庭の理解・協力が得られるように努めた。 ・発達障害を持つ生徒、それがあられると思われる生徒等への指導の場面でも、全職員の情報共有化に努めた。 | A | ・今後も更に家庭の理解、協力が得られるように努めていく。 | |
| 4 生徒会との連携を図る。 | ・校風委員会と連携して、「挨拶運動」、「自転車の駐輪マナーの向上運動」を実施したか。 ・部室清掃(5月・10月)を実施したか。 | ・校風委員会等との連携がうまく図れている。 ・部室周辺清掃は今年度整美委員会呼びかけを行っている。 | A | ・ステッカーをきちんと貼り、自転車の鍵を2重にかけさせる指導を今後も積極的にしていきたい。 | | | |

| | | | | | |
|---------|--|---|--|---|--|
| 人権平和 | 1 基本的人権に対する認識を深め、主権者としての自覚を高めるとともに、他者の人権を尊重する姿勢を育てる。 | ・人権や平和の問題について積極的に考え、行動する力を伸張する機会や場を設けることができたか。 | ・10月の人権平和講演会では、「盲導犬とともに歩んだ27年」と題して、視覚障害者の講師の方をお招きした。盲導犬も連れてこれられ、自らの体験に基づき、貴重なお話を聞くことができた。 ・2年生の沖縄への修学旅行の、事前学習や各教科の学習においても、さまざまな角度から人権平和問題に取り組むことができた。 | B | ・一分野の人権問題に留まらず、いろいろな分野での人権問題について、広い視野に立って生徒に考えさせる機会を設けていきたい。 |
| | 2 自主的・民主的な集団づくり、仲間づくりを図る。 | ・ホームルームを中心に、生徒会活動、クラブ活動などを通じて、集団や仲間について学ぶ機会や体験する場を設けることができたか。 | ・文化祭(龍胆祭)の準備および当日の活動を通して、クラス・学年を超えた広い範囲での仲間づくりや自主的・民主的な場を体験することができた。 ・クラブ活動やクラスの活動(クラスマッチなど)を通して、集団や仲間について考える場を設けることができた。 | A | ・日頃の生活の中での仲間づくりについて、生徒にじっくり考えさせる時間や機会が取れるように努めたい。 |
| 生徒会 | 「生徒会活動の活性化を図る。」 1 計画性を持って準備をし、実施後の反省を次に生かす。 | ・生徒会活動(特に、りんどう祭と卒業式第2部)、委員会活動、クラブ活動が計画通りに実施できたか。 ・地域に関係する取り組みを計画し、実施できたか。 | ・行事については計画通り行うことができた。地域と連携した取り組みについては、積極的にそのような機会を探し、企画していく必要がある。 | B | ・生徒達の中で、PDSサイクルを確立し、行事を次の学年に受け継いでいけるように導きたい。地域との連携は外部から出される提案などに積極的に参加していきたい。 |
| | 2 活動を通して、自主性の涵養を図る。 | ・自治活動や奉仕活動の達成感や満足感が得られたか。 | ・運動部の朝の清掃活動が定着した。今後文化部にも広げていきたい。その他にも自分の学校であるという意識を持って取り組めるような意識を醸成したい。 | A | ・執行部内部での活発な意見交換、協力し合える人間関係が構築されるような組織作りを工夫したい。 |
| | 3 環境に配慮した取り組みを生徒会として行う。 | ・環境に関する企画をし、実施できたか。 | ・落ち葉の堆肥化は地域の方々に好評であった。ゴミの分別、資源化も日常的に行われている。 | A | ・継続した取り組みは、その意義を生徒に伝えて続けていきたい。電気代の節約・デポジット制度の導入など取り組める課題を見つけていきたい。 |
| 図書視聴覚 | 1 図書館利用の更なる拡大を図り、読書習慣を定着させる。 | ・図書館利用が増えたか。 ・貸出数は増えたか。 | ・図書館利用は例年と同じくらいと思われる。 ・貸出数も増えている。 | A | ・図書館利用、図書貸出し数とともに伸びるように、創意工夫を重ねていきたい。 |
| | 2 教科・授業、小論文等への資料の充実を更に図る。 | ・利用者の要望に応じることができる資料の充実が図れたか。 | ・教科・授業、小論文等への利用者の要望に沿うように資料を充実させている。 | A | ・教科・授業、小論文等への利用者の要望に適切に対応できるように、さらに、努力を重ねていく。 |
| | 3 冬期間においても快適な環境を整え、更なる施設の利用を図る。 | ・冬期間、多くの生徒が利用したか。 | ・冬期間、寒い中でも生徒の利用はかなりの数あり。 | A | ・冬期間、できるだけ暖かい環境を整えられるようにしたい。 |
| | 4 視聴覚室及び視聴覚教材の有効活用と各部署との連携を図る。 | ・利用しやすい環境を作り、視聴覚室が有効になりようされたか。 | ・視聴覚教室を有効に使用できるように努力した。 | B | ・視聴覚教室が快適になるように努力したい。 |
| 保健 | 1 心身の管理を図る。 | 1 保健室への来室者への対応が適切であったか。また、関係者や関係者との連絡・連携ができていたか。 2 緊急時、保護者への連絡および医療機関との対応が迅速・適切にできたか。 3 学校保健安全法に則り各種健康診断を計画的に実施し、事後指導が適切であったか。 | ・関係職員と連絡を密にして連携できた。 ・緊急時は保護者および医療機関への連絡が迅速にできるよう、関係職員と協力した。 ・定期健康診断は計画通り終了した。個々への指導は来年度に向けても継続的に行っていきたい。 | A | ・緊急時は今後も迅速に対応できるように努めたい。 ・職員のアED研修会を実施する。 |
| | 2 環境の管理を図る。 | 1 学校環境衛生検査を適切に行い、その結果を生かされたか。 ・飲料水水質検査、プール水質検査、教室内の空気検査、照度検査、ダニまたはダニアレルゲン検査、化学物質検査 2 トイレが清掃され、清潔であるかの確認 3 校内の危険箇所、安全に配慮が必要となる箇所の確認改善 | ・学校環境検査は計画通り実施できた。結果は特に問題なかった。 ・トイレ等の清掃活動は、随時実施した。 | B | ・継続した取り組みをおこなっていききたい。 |
| | 3 保健指導を充実させる。 | 1 生徒が自分の健康に関して興味関心をもてるような広報活動ができたか。 ・保健委員会等による広報活動 ・保健委員会の活動支援 | ・保健だよりおよび掲示物等で広報活動をおこなった。 ・生徒会保健委員会の活動としてトイレの掲示物を作成し、衛生および美化について呼びかけた。 | A | ・継続して広報活動をおこなうとともに、さらに充実した保健指導ができるよう工夫をしていきたい。 |
| PTA | 1 PTA総会、学年・学級PTAを活性化し、相互理解を図る。 | ・総会、学年・学級PTAに多くの人が参加したか。 | ・多くの保護者の参加が得られた。(1年) ・昨年同様、約半数の保護者の参加。(2年) ・短い時間ではあったが、久しぶりに学級PTAも開いて、保護者の声を直接聞くことができた。(3年) ・PTA総会出席率 53.2%(昨年52.2%) | A | ・音楽班の素晴らしいハーモニーと室内楽班の華麗な演奏の後、総会が始まりました。心が洗われる思いがしました。スムーズな運営に一役かったようです。 ・地区PTAの発展的解消に伴い、大勢の方々に参加していただけるPTA総会となるよう見直しをしたい。 |
| | 2 PTA研修会を通して、高校生の健全育成・適性進路について研鑽を積む。 | ・PTA研修会の満足度が高かったか。 | ・内容が盛り山で焦点が絞れなかった。(1年) ・保護者多数から好評であった。(2年) ・進路指導主任から大学入試の現状と保護者の心得について、わかりやすく説明をしていただいた。(3年) ・PTA研修会出席率 49.4%(昨年45.6%) | A | ・PTA研修会にて、今回の進路講演会の板垣先生の講演は素晴らしいお話でした。大変勉強になり、感動しました。ありがとうございます。(PTAアンケートより) ・更にPTA研修会の内容の充実を努めたい。 |
| 学校運営 教務 | 1 学校が更に円滑に運営されるように努める。 | ・諸行事の計画を早め立て、生徒・職員への周知徹底が図れたか。 ・月曆の発行がされたか。 ・事務処理、成績処理のOA化をさらに推進できたか。 | ・周知徹底することができた。 ・予定通り発行することができた。 ・校内イントラネットの職員連絡掲示板の活用が果たした。 | A | ・諸校務が円滑に進むように、OA化の推進を含め校内の連携が深まるような工夫を加えたい。 |
| | 2 校内の情報を外部に発信し、本校への理解を深めてもらう。 | ・授業公開、体験授業、学校説明会に多くの中学生・保護者・他校教職員・地域住民等に参加していただけたか。 ・ホームページで校内の様子が紹介できたか。 ・本校の将来構想を地元の各中学へ紹介できたか。 | ・多数の中学生、保護者、引率職員の参加が得られた。 ・順調にホームページの更新ができた。 ・学校紹介パンフレット・ポスターなどを作成し、分担して各中学校を回り、PRした。 | B | ・授業公開や体験授業等に更に多くの参加者が得られるように、実施日程や内容の改善をしていきたい。 ・さらに様々な情報が発信できるように工夫したい。 |
| 予算施設 | 1 老朽化および危険箇所への十分な対応をする。 | ・生徒への危険が事前に回避されていたか。 | ・女子部室の前庭の水ぬき、大体育館へ行く廊下の防球ネットの取り付け、音楽室準備室の壁ぬき、等、順次必要性の高いところから整備をすすめた。年度内には多目的教室の床がフローリングになり | A | ・中庭の駐車場、グラウンドの排水改修、プールの修理、大体育館のバスケットボールゴール昇降機の修理等、多額の費用を要するものがめじろ押しで残っています。 |
| | 2 県費およびPTA会費により生徒の教育環境を充実させる。 | ・備品、設備、施設等の整備ができたか。 | ・ハンマードリル、ビジュアルプレゼンター、書架、パレー部トス練習機の購入をした。すべてのトイレの清掃と窓の清掃を業者に委託して行った。 | A | ・生徒、保護者、教職員の意見、要望を聞きながら教育環境の充実を努めます。 |
| 情報処理 | 1 情報処理機器、ネットワーク利用による一層の校務合理化の推進を図る。 | ・データベースを整備し、今まで以上の活用ができたか。 ・ワードやエクセルを中心としたアプリケーションの利用者が増えたか。 | ・データの共有化に改善の余地あり。 | B | ・必要に応じて機器の更新等をして更なる利便性の向上を図りたい。 |
| | 2 情報処理機器、ネットワークを使った教育活動の推進を図る。 | ・授業で活用できたか。 ・授業や生徒の様子を外部に発信することができたか。 | ・情報科での利用が増加した。 ・ホームページを効果的に使用した。 | A | ・授業に必要な機器の整備に努めたい。 |
| | 3 情報リテラシー教育の推進を図る。 | ・個人情報・著作権保護、セキュリティ確保の大切さを職員・生徒に伝えたか。 ・クラブ活動、特別活動などで正しい知識と実践を指導できたか。 | ・年度初めに周知徹底を図ったが、個人情報の保護に問題があった。 ・ほぼ実践できた。 | C | ・外部講師による講演等の機会を検討する。 |
| 防災 | 1 緊急体制を整備・確立する。 | ・生徒・職員の緊急連絡網が整備されたか。 ・避難訓練が有効に行えたか。 | 職員緊急連絡網を整備した。 避難訓練は有効に行われ速やかに避難出来た。 | A | 常に迅速に緊急連絡が出来る体制を今後も整えていく。 |
| | 2 緊急時の対応方法を確立する。 | ・緊急避難経路が生徒に対して周知徹底されたか。 ・緊急時の対応が適切であったか。 | 緊急避難経路はきちんと周知されており、実際に避難の練習をすることでより確実なものになった。対応も適切であった。 | B | 引き続き安全・安心な学校運営を目指す。 |